令和7年9月9日
我孫子市小中一貫教育だより
第379号

TSUNAGU

－ 小から中への滑らかな接続にむけて －

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

○「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
○確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
○自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども

布佐地区キャラクター
「ふさだ　だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

オリジナルカリキュラム「命でつなぐ我孫子カリキュラム」

我孫子第三小学校の５年生理科「台風と防災」の単元で、オリジナルカリキュラムの授業が行われました。我孫子中学校区では、「安全」をテーマに小中一貫オリジナルカリキュラムを作成しており、その一環として今回の授業に取り組みました。理科で学習した天気の変化や台風について、自分たちが住んでいる地域の危険性を理解し、防災のためのできることについて考えることが目的です。

まず、台風が接近すると雨量が多くなり、風が強くなることを確認すると、コラボノートを使って、台風による被害について分類しました。「雨量が多くなれば浸水の危険性が高まったり、農作物への被害も大きくなったりするのではないか。」「風が強まれば、倒木により停電するかもしれないし、場合によっては家が倒壊するかもしれない。」と、具体的に考えました。

次に我孫子市ではどのような被害があるかについて、過去に道路が冠水した写真や映像を目にした子どもたちは驚きの声を上げました。自分の住んでいる地域は大丈夫かハザードマップを用いて調べ、避難所への適切なルートを見つけたり、今からできる備えについて考えることができました。

天気の変化の学習から発展させ、自分の身を守る防災に結び付けており、子どもたちが主体的に安全・防災について考えを深める授業でした。

中高連携　吹奏楽部地域向け演奏会「近隣センターふさの風」サマーコンサート

※小中一貫ではありませんが、同じ地域の中学校と高校が連携して行った地域貢献活動の一つとして紹介します。

夏季休業中の8月 24 日(日)、「近隣センターふさの風」で布佐中学校と我孫子東高校が連携・コラボした地域向けのサマーコンサートが「まちづくり協議会」の主催で行われました。吹奏楽部の定期演奏会は多くの学校で行われていますが、地域の高校と連携して実施している例は少なく、布佐中学校でも初めての試みだと思います。

コンサート冒頭、ご出席いただいた星野市長から両校への励ましや東日本大震災時の布佐中吹奏楽部の地域貢献について話があり、音楽が地域を元気づけ、復興に向けた一歩を踏み出せたという感謝を改めて述べられました。

ホールは地域の方々や保護者、学校関係者でいっぱいとなり、第1・2部はそれぞれの学校が特色を活かした演奏や楽器紹介で会場を盛り上げ、アンコールの声もかかりました。

第3部は両校によるコラボレーション演奏で、合同練習の時間が十分にとれたとは言えない状況で、生徒たちは互いの音に耳を傾けながら一生懸命に演奏。最後は坂本九の持ち歌で合唱曲にもなっている「心の瞳」を配布されていた歌詞カードを見ながら会場全体で歌いました。

我孫子東高校だけではなく、市内の高校の生徒にはボランティアとして小中学校の行事や学習会を支援してもらっています。音楽に限らず、今後もいろいろな場面でさらに連携協働して繋がっていくことを期待しています。